

前回の小委員会でごいただいたご意見の答申(案)への反映について

資料1

No.	該当箇所	答申(骨子案)に対するご意見	答申(案)への反映の考え方
1	維持管理・更新の制度面、体制面での現状と課題	技術基準を維持管理の各所にフィードバックする仕組みが必要。推計との関係、長寿命化計画との関係から、技術基準をいかに最良なものとしながら、維持管理をどのように推進していくかという点が重要。	ご意見を踏まえ、第1章6「維持管理・更新の制度面、体制面での現状と課題」に文面を追記します。
2	今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標	メンテナンス戦略は、ストックをどうマネジメントしていくかという大きな戦略の一部である。全体的な書きぶりとして、守りに入らず、大きな視点も含め積極的な答申にしたい。	ご意見を踏まえ、第2章として「今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標」を追加し、今後目指すべき目標を追記します。
3	今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標	元々の大きな社会資本整備のあり方に対する考え方を前段に入れていただいて、そのつながりの中で維持管理は重要だということを強調していただきたい。	ご意見を踏まえ、第2章として「今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標」を追加し、今後目指すべき目標を追記します。
4	今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標	メンテナンス思想については記載があるが、革新的発想を出すために、もう少し全体的に、これまでと全く違った仕組みが必要と書けないか。	ご意見を踏まえ、第2章として「今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標」を追加し、今後目指すべき目標を追記します。
5	今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標	前段に、社会資本の幅の広さについて言及するべき。人工物、自然物、外力が日常的であるか否か、作業環境など、縦、横、高さを意識して最終答申をとりまとめる必要がある。	ご意見を踏まえ、第2章として「今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標」を追加し、今後目指すべき目標を追記します。
6	今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標	国民の立場、地方公共団体に関する記述は、中間答申でも「国民に協力してもらい」、「地方公共団体を支援する」と記載したが、国民が自らの問題として捉えることが重要である。	ご意見を踏まえ、第2章として「今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の目標」を追加し、今後目指すべき目標を追記します。

No.	該当箇所	答申(骨子案)に対するご意見	答申(案)への反映の考え方
7	戦略的な維持管理・更新に関する基本的な考え方	お金の問題(予算不足等)が「現状と課題(第1章)」のところに出てきている。どのようにプロアクティブな表現につなげていくか大事。最初に出てきて、離れたところに戦略に関する記載がある。もう少し文脈をご検討いただきたい。	ご意見を踏まえ、第3章「戦略的な維持管理・更新に関する基本的な考え方」に文面を追記します。
8	全ての施設の健全性等を正しく着実に把握するための仕組みの確立	不具合が見つかったとき、新規に整備する際に繰り返さないよう、不具合を設計基準にどのようにフィードバックするかという考え方を書くべき。	ご意見を踏まえ、第4章1.(1)「全ての施設の健全性等を正しく着実に把握するための仕組みの確立」に文面を追記します。
9	地域・社会の構造変化等を踏まえた集約化・効率化・重点化	都市局で都市再構築の議論がされ、コンパクトなまちづくりによりインフラの負担を軽減されるという答申がまとめられた。第2章の中にコンパクトなまちづくりに係る節が一つあってもいい。	ご意見を踏まえ、第4章2.(1)③「地域・社会の構造変化等を踏まえた集約化・効率化・重点化」に文面を追記します。
10	維持管理・更新への「戦略的メンテナンス思想」の導入	<p>中間答申において国民の協力・理解が必要としたが、トラックの過積載のように、国民の意識向上により改善できるものもある。今後の技術開発や長寿命化計画の進展等も含め、押し下げ要因を積極性のある表現で明示してもよいのでは。</p> <p>社会資本整備の基本方針において賢いインフラの使い方が重要とされている。国民のインフラの使い方が向上するよう答申に記述をするべき。</p>	ご意見を踏まえ、第4章2.(1)⑤として「社会資本の適正利用、施設を賢く使うことによる施設の長寿命化」を追加し、必要な取組について追記します。
11	長期的視点に立った維持管理・更新計画の策定	第3章1.(3)「長期的視点に立った維持管理・更新計画の策定」の後に、「定期的な見直し」も加える必要がある。人口減少による使用量の変化なども加味し、計画を見直すことが大切。	ご意見に関する内容については、第4章2.(3)(維持管理・更新計画は一度策定してそれで終わるのでなく、調査・診断の結果等を踏まえ、定期的にその妥当性を検証し、見直しを継続的に行う。)に記載しています。
12	地方公共団体等が円滑に維持管理・更新を行うための枠組みの提示	ファイナンスの部分も大事。やりたくてもお金がないとできない。地方公共団体への支援についてどの程度書けるか見えていない。	ご意見に関する内容については、第4章2.(4)(維持管理・更新に係る予算確保)、第4章3.(3)(地方公共団体等への支援)に記載しています。

No.	該当箇所	答申(骨子案)に対するご意見	答申(案)への反映の考え方
13	維持管理・更新に係る予算確保	第3章2. (4)「予算確保」のところで、財務省への修繕の予算要求単価の見直しも必要かもしれない。今後の議論として盛り込んでいただきたい。	ご意見を踏まえ、第4章2. (4)「維持管理・更新に係る予算確保」に文面を追記します。
14	施設の点検・診断・評価・補修を適切に実施するための技術者・技能者の育成・支援、資格制度の確立	第3章2. (7)「技術者」という言葉について、技術者も足りないが技能者をもっと足りないのが現状。一般的には区別がないかもしれないが、区別して技能者と書くべき。	ご意見を踏まえ、第4章2. (7)「施設の点検・診断・評価・補修を適切に実施するための技術者の育成・支援、資格制度の確立」の記載に「技能者」を追記します。
15	施設の点検・診断・評価・補修を適切に実施するための技術者・技能者の育成・支援、資格制度の確立	人材への保証、資格制度のようなものを、メンテナンス分野においても新設と同じように設けるべき。学会でも、資格の専門分野には偏りがあるので、全般的な資格制度の創設が重要。	ご意見を踏まえ、第4章2. (7)「施設の点検・診断・評価・補修を適切に実施するための技術者・技能者の育成・支援、資格制度の確立」に文面を追記します。
16	地方公共団体等が円滑に維持管理・更新を行うための枠組みの提示	インパクトが弱いのは契約制度、「維持管理・更新に軸足を置いた組織・制度への転換」のところ。特に、地方自治体でのメンテナンス推進のための組織力、体制論。これについては項目を一つ起こすべき重要課題である。	ご意見を踏まえ、第4章3. (4)として「地方公共団体が円滑に維持管理・更新を行うための枠組みの提示」を追加し、必要な取り組みについて追記します。
17	おわりに	答申の最後の方でいいので、項目の中で急ぎ検討を進めるものを整理した方がよい。組織、体制は比較的手が打ちやすい。また、技術開発については、成果は時間がかかるが、目標立てをすることは早期に実現しやすい。	ご意見を踏まえ、早急な対応を求めるものと、継続的に検討が必要なものについて、「おわりに」に文面を追記します。